

雲北陵月報

No. 490

令和8年6月30日
出雲北陵中学高等学校
土江明文社 印刷

第64回島根県高等学校総合体育大会 第4回中学校出雲ブロック大会

出雲北陵生 躍動の夏!!

男女ソフトテニス部・卓球部 団体戦優勝!!

女子ソフトテニス部

時 6月4〜6日
於 松江市宮庭球場

〈団体戦〉優勝(3年連続)

団体メンバー(落合・森田・今田・末田・井上・牛尾・水永・村尾)

2回戦 3-0 松江北

3回戦 2-0 松江東

準決勝 2-0 松江商

決勝 2-0 松江南

〈個人戦〉

優勝 井上心々奈(33歳)・牛尾真緒(21歳)ペア

2位 落合 遥(33歳)・森田早貴(34歳)ペア

3位 今田 心(23歳)・末田美雨(13歳)ペア

5位 水永成実(23歳)・村尾竹音(13歳)ペア

4ペア インターハイ・中国大会出場

B 16 曾田珠凜重(33歳)・三原夏帆(13歳)ペア

板垣柚希(35歳)・谷 心愛(21歳)ペア

杉谷 晶(14歳)・岡 凜華(14歳)ペア

3ペア 中国大会出場

○大会総評

団体が優勝し、個人戦でも多くのペアが上位大会の出場権を獲得することができた。大きなプレッシャーを感じながらも全員がよく力を出し切った結果だと思

う。更に団結を強め、次の目標に向かって精進していきます。たくさん応援・サポート本当に有難うございました。(顧問 金森 快)



個人戦優勝の井上(右)・牛尾ペア

男子ソフトテニス部

時 6月4〜6日
於 松江市宮庭球場

〈団体戦〉優勝(12大会ぶり4回目)

団体メンバー(三上・三島・木村・高木・川原・河野・山下・富岡)

2回戦 3-0 出雲

準決勝 2-0 松江北

準決勝 2-0 安来

決勝 2-1 松江工業

○大会総評

3年生チームの意地を見せてくれた優勝であった。またサポートを含めたチーム力でも1番であったと感じている。個人戦では悔しい思いをした選手が多い中、結果を残した選手がメンバーを外れ誰よりもサポートしてくれた。年間を通じてコンスタントに実績を重ねてきた選手が、最後は誰よりも大きな声でチームを鼓舞し、声援を送ってくれた。これらすべてがこのチームの強さであったと思う。当日は保護者の方OB、OBの保護者の方などたくさんの方に声援を送っていただき、本当に心強く感じました。有難うございました。ようやくスタートラインに立てたので、チームの目標に向かって更に精進していきます。(顧問 佐々木雄志)

〈個人戦〉
3位 高木映瑠(34歳)・川原 真(34歳)ペア
佐藤宏祐(24歳)・金森剛士(33歳)ペア
6位 三島綾太(32歳)・木村一心(21歳)ペア
4ペア インターハイ・中国大会出場
B 8 高野幸大(33歳)・仲津想大(33歳)ペア
B 16 富岡光輝(33歳)・三上瑛大(35歳)ペア
河野穂希(33歳)・山下柊人(35歳)ペア
杉本 風(22歳)・倉本晃汰(32歳)ペア
坂本駿介(22歳)・栗原 健(23歳)ペア
5ペア 中国大会出場

○大会総評

3年生チームの意地を見せてくれた優勝であった。またサポートを含めたチーム力でも1番であったと感じている。個人戦では悔しい思いをした選手が多い中、結果を残した選手がメンバーを外れ誰よりもサポートしてくれた。年間を通じてコンスタントに実績を重ねてきた選手が、最後は誰よりも大きな声でチームを鼓舞し、声援を送ってくれた。これらすべてがこのチームの強さであったと思う。当日は保護者の方OB、OBの保護者の方などたくさんの方に声援を送っていただき、本当に心強く感じました。有難うございました。ようやくスタートラインに立てたので、チームの目標に向かって更に精進していきます。(顧問 佐々木雄志)



3位の高木(右)・川原ペア



3位の佐藤(右)・金森ペア

卓球部

時 6月4〜6日
於 出雲市総合体育館

〈男子団体〉優勝(2年ぶり18回目)

〈男子シングルス〉

3位 波多間怜偉(23歳)

〈男子ダブルス〉

優勝 三好蒼空(32歳)・金丸 陽(32歳)組

2位 福田健人(35歳)・波多間怜偉組

3位 松崎優樹(23歳)・天野遙空(13歳)組

○大会総評

団体戦では2年ぶりに優勝を果たし、インターハイへの出場権を獲得することができた。大会期間中は、どの試合も大きなプレッシャーがかかる厳しい戦いの連続であったが、主将の福田を中心にチーム一丸となって戦い、幾度もの苦しい場面を乗り越えることができた。また、出場選手だけでなく、遠方から会場まで足を運んでくださったOBや保護者の皆様の温かいご声援、そしてスタンドから懸命に先輩達を応援し続けた中学校卓球部員の声援も選手達にとって大きな力となった。インターハイでは、島根県代表としての自覚と誇りを持ち、上位進出を目指して全力で戦いたい。(顧問 古瀬泰之)



ダブルス優勝の三好(左)・金丸組

○大会総評

団体戦では2年ぶりに優勝を果たし、インターハイへの出場権を獲得することができた。大会期間中は、どの試合も大きなプレッシャーがかかる厳しい戦いの連続であったが、主将の福田を中心にチーム一丸となって戦い、幾度もの苦しい場面を乗り越えることができた。また、出場選手だけでなく、遠方から会場まで足を運んでくださったOBや保護者の皆様の温かいご声援、そしてスタンドから懸命に先輩達を応援し続けた中学校卓球部員の声援も選手達にとって大きな力となった。インターハイでは、島根県代表としての自覚と誇りを持ち、上位進出を目指して全力で戦いたい。(顧問 古瀬泰之)

なぎなた部

時 5月31日
本校黎明館

〔演技競技〕
優勝 曾田小夏(34廻)・安田結衣(33廻)チーム
2位 吉田千秋(24廻)・齋藤桜生(23廻)チーム
3位 佐藤晴香(13廻)・堀内琳加(14廻)チーム
〔女子個人試合〕
優勝 安田結衣
2位 吉田千秋
3位 曾田小夏
団体は本校、演技2チーム、女子個人2名が8月10日から奈良県で開催されるインターハイに出場

第32回中国高等学校なぎなた選手権大会
時 6月20日
於 広島市南区スポーツセンター

〔演技競技の部〕
3位 曾田小夏・安田結衣チーム
ベスト8 吉田千秋・齋藤桜生チーム
2回戦敗退 佐藤晴香・堀内琳加チーム
〔女子個人の部〕
2位 安田結衣
3位 吉田千秋
3回戦敗退 齋藤桜生
2回戦敗退 曾田小夏、堀内琳加、佐藤晴香
1回戦敗退 佐藤花春(15廻)
〔男子個人の部〕
3位 岡田一之介(34廻)
〔団体の部〕優勝
○大会総評
今大会は団体で優勝し昨年に続き連覇することができた。女子個人の部でも安田が2位、吉田が3位、男子個人も岡田が3位と健闘。演技でも曾田・安田の3年生チームが3位入賞した。今大会の反省を生かし、女子はインターハイ、男子は8月末の大会へ向け稽古に励みたいと思う。(顧問 井上美代)



男子バスケットボール部

前期 5月29日
後期 6月5日
於 島根県立体育館
県立浜山体育館

2回戦 本校 108-47 松江工業
準々決勝 本校 74-38 松江工業
準決勝 本校 64-46 出雲工業
決勝 本校 57-65 松江工業
ベスト5 田村 琉(34廻)

○大会総評

本校は2回戦からの出場となり、準決勝まで危なげない試合運びで勝ち上がった。迎えた決勝の一番、松江東との試合に競り負け、インターハイ出場はならなかった。決勝では、相手チームの勢いを守備で抑え、攻撃ではインサイドが機能し、得点を重ねることができ、前半3ポイントで折り返した。後半はアウトサイドとインサイドが噛み合えば、勝機は必ずくると想定し、出だしが勝負と伝えたが、ファウルトラブルと、決定力が上がらず、接戦をものにするにはできなかった。しかし、「最後まで粘り強く、ひたむきに戦おう。」と選手達と話をし、最後まで要求し続けた。引き離されかけても、最後まで喰らいつく試合展開ができたことは、大きな収穫であった。そして、3年生を中心に最後までよくやってくれたこの悔しさを胸に、中国大会、県選手権では、成長したチームで戦えるよう精進していききたい。



最後にになりましたが、理事長、校長先生をはじめ、会場で声援をいただいた教職員の皆様、保護者、OBの皆様、女子バスケットボール部員、野球部員の方々に、多くの声援いただきました。ありがとうございました。(顧問 手島幹人)

女子バスケットボール部

時 5月30日
於 益田体育館、県立体育館

2回戦 本校 70-60 大社
準々決勝 本校 60-77 松徳学院
ベスト8
○大会総評
大社戦では、前半から随所に良いプレイが見られ、前半は30-33の3点差で終えた。後半の第3ピリオドでは一進一退の攻防が続いたが、最終ピリオド流れに乗り、何とか勝利することができた。次の松徳戦では前半点差をつけられたが、最後まであきらめることなく戦い、本校らしいプレイも随所に見られた。当日は保護者の皆様をはじめ、多くの方々よりご声援いただき、誠に有難うございました。(顧問 篠原勝利)

陸上競技部

時 5月29日
於 浜山陸上競技場

田中純平(11廻) 棒高跳 4位
原 泰成(32廻) 棒高跳 7位
大野 蓮(32廻) やり投げ 4位
高野咲人(13廻) 砲丸投げ 5位
小松原蒼空(24廻) 八種競技 4位

○大会総評
本校からは18名の選手が出場した。日頃の練習の成果を発揮し、各種目で健闘した。

結果、男子フィールド総合において第5位となるなど、総合力の高さも示した。今大会では自己記録・自己タイ記録を更新する種目が11種目に及び、多くの選手が着実に成長を見せた。

なお、上位6位以内に入賞した4名は、6月19日、21日に山口県で開催される中国大会への出場権を獲得した。生徒達はそれぞれが持てる力を十分に発揮し、全力で競技に臨んだ。また、日



頃より温かいご支援、ご声援をいただいた保護者ならびに関係者の皆様、心より感謝申し上げます。今後とも本校陸上部へのご声援をよろしくお願い致します。(顧問 中澤 悟)

テニス部

時 6月4日
於 浜山公園テニスコート

〔男子団体〕1回戦敗退
〔男子シングルス〕
渡部悠真(32廻) 2回戦敗退
〔男子ダブルス〕
渡部悠真・高橋竜也(22廻) 2回戦敗退
〔女子シングルス〕
石原麻帆(33廻) 2回戦敗退



○大会総評
4月から新体制になり、部員達が試行錯誤しながら練習してきた。上位大会への進出は果たせなかったが、最後まで諦めないプレイで戦い抜いた。その背中を後輩達は受け継いで欲しい。(顧問 永瀬貴之)

サッカー部

時 5月29日
於 益田陸上競技場

1回戦 本校 1-1 益田翔陽
〔前半1-1〕後半0-0 延長0-0
2回戦 本校 0-1 出雲工業
〔前半0-1〕後半0-0
○大会総評
結果は敗退となったが、2試合とも北陵らしい戦いを見ることができた。周囲からも称賛をいただいた。最後まで闘志溢れる姿勢は、観ている方々の心を揺さぶるものであったのだと思う。今大会で明らかになった課題を今後の成長につなげ、次の大会に生かしていきたい。(顧問 松井仁志)



野球部

島根県出雲地区高等学校野球大会

時 6月5日
於 県立浜山公園野球場
1回戦 出雲北陵 0-8 大東
(7回コールド)



○大会総評
今大会は改装された県立浜山公園野球場で試合をすることができた。夏の選手権最後の大会という事で、選手一同意気込んで大会に臨んだが、実力が及ばなかった。選手権に向けて残り一か月となり、課題は明確なもので、日々精進していきたい。当日は応援に来ていただき有難うございました。
(顧問 畑 宗一郎)

写真部

「写真甲子園2026」中国ブロック審査会優勝！ 3年ぶり4回目の本戦大会出場決定！



第33回全国高等学校写真選手権大会「写真甲子園2026」において、本校写真部が3年ぶりに優勝を果たし、中国ブロック代表として、4回目となる北海道での本戦大会出場権を獲得した。選手は勝部紫帆(35補)、原宗右介(21補)、景山双葉(23補)の3名である。オンラインでのプレゼンと質疑応答を経て、激戦を制

して勝ち切ることができた。この3人と共に、7月27日から8月2日(招聘期間)に北海道での本戦大会に挑戦することになる。残された時間を大切にして、出雲北陵らしく、自分達らしく最高到達点を目指したい。本校写真部の応援をよろしくお願い致します。

高文連春季写真コンクール 特選10点、入選20点入賞！

時 6月11日
於 くにびきメッセ



特選「弧光」原 宗右介

本校からは20人が100点出品し、10点が特選、20点が入選を受賞した。2年生が特選10点中7点を占めており、非常によく頑張ってくれた。2年生の入賞比率が高いことは島根県高校写真展での全国推薦枠獲得につながる喜ばしいことである。もちろん、この結果に驕らず、真摯に写真に向き合っていきたい。特選は以下の通り。(出品番号順)

- 「眼光」 伊藤璃梨華(13補)
 - 「弧光」 原宗右介
 - 「黄昏線」 原宗右介
 - 「途切れぬ帰路」 原宗右介
 - 「戻れるなら」 森脇結雅(21補)
 - 「いつまでも」 森脇結雅
 - 「遠雷」 景山双葉
 - 「ダイブ！」 持田一真(23補)
 - 「静観」 勝部紫帆
 - 「春を覗く」 勝部紫帆
- (顧問 村上 学)

合唱部

第65回島根県合唱祭

時 6月14日
於 石央文化ホール
今回のステージは今年度初めての公式ステージであり、ほどよい緊張感の中で本番を迎えた。

本校合唱部は、NHK全国学校音楽コンクール課題曲「まだ旅の途中」と「怪獣のバラード」の2曲を演奏した。特に「怪獣のバラード」は、早いテンポの中でダンス付きで歌わねばならず苦慮した面もあったが、本番ステージでは満面の笑みで演奏することができた。会場からも拍手が沸き起こり、会場全体を盛り上げ、楽しいステージとなるとともに、ホール一杯に北陵サウンドを響かせることができた。他団体の演奏も聞くこともでき、良い刺激を受ける機会となった。更にコンクールに向けて演奏の質の向上を図れるように、日々の練習に取り組みたい。
(顧問 布野浩志)

吹奏楽部

出雲地区吹奏楽祭

時 6月6日
於 出雲市民会館大ホール
【演奏曲目】ライオンキング (A.T.森田一造)



出雲地区の吹奏楽部が集う吹奏楽祭が開催された。いずれの学校も新メンバーとなり、コンクールへ向け熱演を披露した。本校は、全出場団体の唯一となるステージドリルを披露した。短い練習期間ではあったが、部員達は観客の皆様楽しんでもらえるよう工夫を凝らし、一杯の演奏演技を行った。

美術部

高文連出雲地区美術講習会・コンクール

時 5月28日～30日
於 国立三瓶青少年交流の家周辺



出雲地区の高校の美術部員が参加し、3日間に渡って国立三瓶青少年交流の家周辺を風景写生した。本校は1・2年生20名が参加し、新緑の三瓶山で伸び伸びと油彩・水彩の絵画制作を行うことができた。最終日には優秀作品が選抜され、本校からも2年生の3点が出された。
(顧問 石倉 正)

情報技術部

第73回「全国高校ワイプロ競技大会島根県予選」

時 6月11日
於 出雲商業高校

3年生4名、1年生1名で参加した。3年生にとっては全国大会をかけた最後の競技会となった。例年よりも数字を多く入力する文章構成で、カンマと点の違いなど小さなミスを誘う問題形式であった。結果は団体の部が総合3位、個人の部では遠藤遼太郎(33補)と立石翼(34補)が3位入賞、水谷駿斗(34補)が佳良賞を受賞した。残念ながら全国大会への切符は逃したものの、それぞれがベストを尽くした。3年生が自主的に取り組み、部活動の良い雰囲気をつくってくれた。その伝統を1年生がぜひとも受け継いでいって欲しい。
(顧問 相場翔太)

令和8年 キャリア教育関西研修旅行

時 6月9～11日

於 関西各地(大阪府・兵庫県)

6月9日から11日まで、2泊3日の日程で高校2年生はキャリア教育関西研修旅行を実施した。

最初のプログラムである神戸市「人と防災センター」では、阪神大震災で被災された語り部の方から地震の惨状とその後の復興、避難生活などについて体験をもとに話していただいた。防災に対する心構え、具体的な対策など、近年は地震に限らず自然災害が頻発していることから、自分のこととして考えることができた。

ホテル到着後、夕食前にイブニングセミナーを開催した。講師には、株式会社全力講師代表取締役下村啓介様をお招きし、「職業探究講座/未来の仕事の見つけ方と叶え方」と題してお話しいただいた。将来設計をどのように立てたらいいかを具体的な数字を提示しながら説明していただき、高校卒業後の進路を考えるうえで、将来の現実的な課題を克服しながら歩む、その指針と基準を理解できた。2日目からはクラス別に、大学、専門学校への訪問と体験学習、企業や施設での見学やセミナーを受講した。進路学習については入学来、進学指導部・就職指導部による講話や研修を通じて様々な角度から考える時間を積み上げてきた。

今回の研修旅行は、これまでの学習を土台に、現地を訪れ、実際の雰囲気を実感しながら、具体的に考える時間となった。

上級学校訪問では、学生の皆さんの姿を横に見ながら学校見学をさせていただいた。学校の特色や、学生生活の様子、講義や資格取得の説明を聞く際も、すぐそばで学生の皆さんがおられることから学生として疑似体験するような感覚で真剣に聞くことができた。また、模擬授業を受けたり、図書館や最新施設を見学させていただくことができ、入学後の学業

や研究を臨場感も伴って体験しながら考えることができた。

今回の研修旅行では、学年・クラスそれぞれの集団で行動する中で、北陵生として自覚のある態度・行動がとれ、お互いが協力しあう姿にあふれていた。皆で一生懸命取り組めたので、U.S.J.では楽しそうにしている姿がたくさん見られた。今回の研修を通じて学んだこと、考えたこと、気づいたことを今後の学習や進路決定に向けて生かしてくれることを期待している。(2年主任 伊藤敦志)

教務部 人権教育HR実施

時 5月25日

1年生は「誰もが充実した学校生活を送るために」をテーマに、入学から約1か月の学校生活を振り返り、自分や仲間への思いについて考えた。また、互いを理解し支え合いながら、より良い学級づくりや充実した学校生活を送るために大切なことを学んだ。

2年生は「様々な価値観を尊重できる人間になる」をテーマに、SNSの利用を題材として、情報発信やコミュニケーションの在り方について考えた。相手の立場や思いを尊重することの大切さを改めて確認した。

両学年とも、身近な出来事を通して人権について考え、自分自身や他者との関わり方を見つめ直す機会となった。今後一人ひとりが安心して学校生活を送り、互いを尊重しながら成長できる学校づくりを進めていきたい。

高校PTA役員

5月21日、本校でPTA総会が開催され、今年度の新役員は次の方々が決まりました。

- | | |
|-----|-------------|
| 会長 | 石原 稔功 様(33) |
| 副会長 | 三島 一男 様(24) |
| 副会長 | 門脇 俊 様(14) |
| 監事 | 遠藤 正博 様(33) |
| 監事 | 佐藤 大樹 様(23) |
| 監事 | 宮本 諭 様(12) |

中学校

第4回島根県中学校 出雲ブロック大会結果

卓球部

時 6月2・3日
於 出雲市総合体育館

(男子団体) 優勝 (14大会連続16回目)
(男子シングルス)

- 優勝 清水寛生(中2藍見)
- 2位 住田光亮(中1西)
- 3位 福島陽希(中2藍)
- B 8 今福瀧司(中2藍)、金田悠生(中2新)
- 村守結仁(中2藍)、小笠原大羅(中2原)
- 9位 隈元慶真(中1南)、菅原梨功(中2中)

大会総評

選手達は日頃の練習の成果を存分に発揮し、団体・個人の両種目で頂点に立つことができた。個人戦では本校選手がベスト8を独占し、代表決定戦を勝ち抜いた2名を含む、計10名が7月に開催される県総体への出場権を獲得した。県総体は本大会以上に厳しい戦いとなること予想される。今回の結果に満足することなく、それぞれが課題と向き合い、更なるレベルアップを図っていききたい。(顧問 古瀬泰之)



女子バスケットボール部

時 6月2・3日
於 出雲北陵高校体育館

- (予選リーグ)
- 1試合目 本校 102
- 2試合目 本校 113
- 113 平田中
- 45 河南中



予選リーグ
1試合目 本校 68
- 2試合目 本校 55
- 55 出雲二
- 58 BLAZE BULLS
- 優勝(3年連続) 県総体出場

二日目の決勝戦は、終始自分達の展開に持ち込むことが叶わなかったが、粘り強いディフェンスで最後まで戦い抜くことができた。今後は県総体に向けた、チームとして果たすべき役割を今一度徹底し、優勝という目標の達成に邁進致します。日頃より多大なるご声援をいただき、心より感謝申し上げます。(顧問 多々納厚比古)

男子バスケットボール部

時 6月2・3日
於 斐川中学校体育館



準決勝 本校 96
- 決勝戦 本校 68
- 68 53 IZUMO DREAMS
- 優勝 県総体出場

○大会総評
目標にしていた優勝を果たすことができた。新一年生も加わって活気やチーム力が高まり、全員で一試合ずつ戦い抜くことができた。大事な場面でも、チームで取り組んでいることを信じて貫けるように、覚悟を持って練習に励んでいきたい。ご声援有難うございました。(顧問 和田拓真)

野球部

時 6月25・4日
 於 平田球場・浜山少年球場
 1回戦 本校 7-16 出雲一
 2回戦 本校 0-7 平田
 ○大会総評

初戦の出雲一中戦は序盤から優位に進めることができたが、相手の3年生の思いに押されたのか、中盤でビッグインングを作られ逆転を許す展開となった。その後、チャンスに何とか一本を出すが、逆転勝ちをすることができた。終盤に無死満塁のピンチを作られるなど、いつ試合をひっくり返されてもおかしくない展開であったが、粘り強く守って勝利を手にすることができたことに成長を感じる一試合であった。

2回戦の平田中戦でも序盤は粘り強く守ることができたが、先取点を取られてからは流れを取り戻すことができず失点を重ねてしまい敗戦となった。

3年生がいない中で1つ勝つことができたことは価値のある一勝であった。しかし、まだまだ課題も多いので、今回の大会の経験を糧に更に成長してもらいたい。沢山の応援有難うございました。
 (顧問 酒井甲太郎)

交通安全教室開催



時 5月18日
 於 北陵ホール
 出雲警察署、交通総務課巡査長の三好渉様が講師として来られ、パワーポイントを用いた講義をしていただいた。交通ルールの改定に伴い、気を付ける点について丁寧に説明をしていただいた後、自転車に乗る際の基本的な注重点について再確認を行い、交通安全に対する意識を高めることができた。自転車を利用する生徒が多いため、今回学校生活を送れるようにしていきたい。

中学1年生 サン・レイク研修



時 5月19・20日
 於 島根県立青少年の家
 中学1年生37名が島根県立青少年の家にて二泊二日の宿泊研修を実施した。初日は天候にも恵まれ、晴天の下、宍道湖沖合まで進むカッター訓練を行った。全員が息を合わせないとカッターは中々進むことができず、協力することの大切さを学ぶいい機会となった。2日目は創作活動として、レザークラフトを作成した。それぞれが思い思いのデザインを作品に表現していた。

クラスメイトとの絆を深めるだけでなく、普段なかなか交流する機会のない学年の子とも仲を深めることのできた、良い研修であった。

第二回校外講師特別講座(座禅と講話)



時 5月27日
 於 総本山一畑寺
 本年度も総本山一畑寺へ足を運び、管長である飯塚大幸様のお世話で、座禅と講話の会を実施した。

日常の喧騒から離れた静寂の中、生徒達は一点に集中することが大切な座禅を経験した。時間が経つにつれて深い集中へと入り、堂内は凜とした緊張感に包まれ、素晴らしい時間を持つことができた。

出雲科学館理科学習(中学2年)

時 5月29日
 於 出雲科学館
 「物質どうしの化学変化」のテーマで出雲科学館理科学習が実施され、42名が受講した。

1時間目はサイエンスホールにおいて、水素と酸素の混合気体が化合し水ができる実験、ダイヤモンドを燃焼させると二酸化炭素ができる実験、ドライアイスとマグネシウムが反応して酸化マグネシウムと炭素ができる実験などを観察し、そのしくみを原子や分子モデルで考察する。内容は生徒の興味を引き、理解を深めた。2・3時間目の実習では、マグネシウムを燃焼させたときに結びつく酸素の質量を斑ごとに測定し、それを元に反応するマグネシウムと結びつく酸素の質量の比を考察した。

生徒達は協力し合い、ガスバーナーや電子てんびんの測り取り方、測定結果からグラフの作成、考察の方法など一連の学習を通し、積極的に取り組むことができ、単元の理解を一層深めることができた。出雲科学館スタッフの皆様には大変お世話になりました。

キャリア教育(進路学習)

時 6月8日
 於 北陵ホール
 島根県立大学出雲キャンパス

講師：しまね国際センター
 岩田 和美 様

演題：社会や世界の動向から未来を見据える

中学3年生
 講師：島根県立大学看護科の先生方、学生の皆さん

演題：大学の体験学習を通して世界を広げる

中学2・3年生を対象にキャリア教育研修を実施した。2年生はJICA海外協力隊の話や異文化体験のワークショップを通じて、世界に目を向け、進路選択を考える好機になった。3年生は、聴診

器体験や車椅子体験を行なった。医療系の仕事に就きたいと考えている生徒達にとっては絶好の機会となった。



第1回合同道徳

時 6月15日
 於 北陵ホール
 講師 松本克己校長

松本克己校長先生が、これまでの日本の歴史や世界での道徳の考え方などを踏まえ、日本の「道徳」教育についてお話をした。以下は生徒の感想である。普段学んでいる「道徳」について、生徒達も改めて多くのことを学ぶ機会となった。

【生徒の感想】

松本校長先生から「道徳」について学びました。週に一度の道徳の時間があり、自分的には道徳を理解していると思っていましたが、松本校長先生のお話を聞かせていただくと、全く異なる考えもあるのだなと改めて感じました。今回の道徳で印象に残ったことは、道徳は文化の一つということ。私は道徳とは全世界共通で一つの問いに対して皆同じような解答をするものだと思っていましたが、そのようなことは全くないことを知ることができました。文化が違えば考え方も違うのだと気付かされました。今日の合同道徳では自分のこれからの人生に繋がる言葉がいくつもありました。これらの言葉を忘れずに、これからも生活していこうと思います。 下条莉子(43)

キャリア教育関西研修旅行スナップ

作品と研究



令和8年度春季写真コンクール特選作品

今月の
1枚 「静観」

勝部 紫帆 (3-5)